

学 科	服飾美術専攻	担 当 教 員	佐藤 希代子		
授 業 科 目	被服衛生学		科目区分	専門科目	2 単 位
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1, 2 年次・後期 (隔年)
授業の主題 目 標	快適な被服をデザインするためには、ヒトと物との関わりを、総合的に把握することが重要である。この授業では、ヒトの生体メカニズムを学習した上で、ヒトと物との関わりを評価する方法を学ぶことを目的とする。				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 被服と環境, 被服の目的および機能 2. 生体の構造 3. 被服設計における人間因子(1) 形態的因子 4. 被服設計における人間因子(2) 体型分類 5. 被服設計における人間因子(3) 運動機構的因子 6. 被服設計における人間因子(4) 着心地の評価 7. 人体計測法 8. 生理学的測定法 9. 動作分析法 10. 心理学的測定法 11. 自律神経系, 生体リズム 12. 体温, 皮膚温, 平均皮膚温 13. 発汗, 唾液 14. 心拍, 血圧, 血流 15. まとめ・筆記試験 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	斉藤秀子・呑山委佐子編著「快適服の時代」おうふう 参考図書：日本家政学会被服衛生部会編「アパレルと健康」井上書院				
準備学習の 具体的内容	テキストの読了				
評価の方法 基 準	受講態度 (20%) 筆記試験 (80%)				
履 修 上 の 注 意	「被服生理学実験」受講希望者は、この授業を必ず履修すること。				